

第33回北方領土の返還を求める都民大会 会長挨拶（要旨）

- ただいまご紹介をいただきました谷茂岡でございます。
- 第三十三回北方領土の返還を求める都民大会を開催するにあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。本日は、お忙しいところ、このように大勢の皆様にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。
- 本日の都民大会には、大変心強い応援団をご来賓としてお迎えいたしております。お国のほうからは、内閣府、外務省、そして北対協からもおいでいただいております。ありがとうございます。また、東京都からは政策企画局長をはじめ、都議会副議長、そして都議会各会派の皆さまにもおいでいただいております。重ねてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。
- 本日は、NHKの解説委員でいらっしゃいます、石川一洋先生にお越しいただき、昨今のロシアの動きを踏まえた、北方領土問題に関する現状についてお話をいただきます。石川先生は、NHKモスクワ支局長もつとめられ、ロシアや中央アジアなどをご専門にされております。本日のご講演も興味深いお話がいただけるものと思います。
- さて、ロシアが北方領土を占拠してから今年で七十年目を迎えます。まことに長い年月です。この都民会議も昭和五十八年の設立以来、三十二年が過ぎました。こうした長い年月、私どもは、日本とロシア二国間の交渉を見守りながら活動をしてまいりましたが、残念ながらいまだにこの問題は解決に至っておりません。一日も早く北方四島が日本へ帰ってくることを、そして両国の人々が、本当に胸襟を開き、信頼関係を持ってお付き合いできる日が来ることを信じて、私たちの運動を進めていかなければならない、改めてそのように感じております。
- 島を取り戻すまで、決してあきらめることなく、粘り強く、そして希望を持って、この運動を推し進めてまいりたいと存じております。どうぞ、皆様方にも引き続き力強いご支援をお願い申し上げます。簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。